

IKOMAロボテック株式会社



事業者名 IKOMAロボテック株式会社
 代表者名 代表取締役社長 生駒 徹志
 設立年月 平成10年3月
 所在地 〒708-0016 岡山県津山市戸島634-28
 TEL/FAX TEL.0868-28-7533 FAX.0868-28-7534
 U R L <http://www.ikoma-rb.com/>
 資本金額 2,600万円
 従業員数 59人
 業 種 金属加工機械製造業
 事業計画名 短納期生産体制構築計画



ロボットへのニーズの高まりに応え 部品の内製化を進めて短納期を実現



導入背景

部品の短納期で内製したい

津山市に本拠を置く『IKOMAロボテック』は、産業用ロボットおよびロボット周辺機器の製造開発を手掛ける企業である。システムインテグレータとしての高い提案力、技術力を強みに、成長業界の中で存在感を示している。

年々増加する需要に対応するため、生産能力を上げ、高品質・短納期で納入できる体制を整えたいというのが今回の取り組みである。同社では以前より、立ち会い検査時の急な仕様変更などにも柔軟に即時対応できるよう、部品についても大半を社内で製作している。しかし受注量に対して、部品加工のための設備も人員も充分ではない。能力オーバーとなれば外注に頼らざるを得ないため、結果として外注によるコスト増・日数増となるという問題が生じていた。

実施内容

新型機を導入しフライス工程を改善

部品の製造工程の中でもとりわけボトルネックとなっているのが、フライス加工であった。フライス盤が旧型で能力に欠けるため、品質基準を満たすには熟練の技術者が何度も同じ作業を繰り返して精度を上げていかねばならず、必要以上の時間がかかっていた。この問題を解決するため、高精度の加工ができる新型フライス盤を導入。当機は2軸制御(Z軸は手動式)で対話型という特徴をもつが、これを選択した理由は、一品一様の部品が大多数を占める同社の現場にとって、複雑なプログラムを作り込んで完全自動化するよりも、初期設定が簡単なほうが時間短縮のメリットが大きいためである。また、人の手による部分を残すことで、同社の財産ともいえるオペレーターの技術水準と、ものづくりへの意識を保持する意図もある。

事業成果

生産能力向上・短納期化を実現

新型フライス盤により、従来機では扱えなかった精密部品や大型部品も内製できるようになった。一度の工程で目標の精度を出すことができるため、作業時間が短縮。経験の浅い作業員でも精度の高い加工ができるため、熟練者の技術を別の工程にいかせるようになった。複雑なプログラムを組む必要がなく、最初の段取りにかかる時間も従来機より短縮できた。フライス加工の生産性が高まったことで工程全体の流れがよくなり、生産能力向上・短納期化を実現することができた。

生産体制が整ったことで、最近では研磨加工など新しい分野のロボットの製造も手掛けるようになっていく。今回の成果を踏まえて、その後もう1台違うタイプのフライス盤も新規導入したため、現在はいっそう生産能力が拡充している。

今後の展望

人が育つ活気ある会社を目指して

ロボットの活躍する産業分野はますます広がっており、強いニーズを実感している。これからは技術向上と設備増強を図り、期待に100%応えたい。納入先は日本全国に及ぶため、関東方面に拠点を設けることも考えている。一方、除草ロボットなど自社独自の研究開発にも継続して取り組みたい。当社の仕事は専門性が高いため、人材育成は最重要課題。各種制度や環境を整え、社員全員がイキイキと意欲的に成長できる会社づくりに努めている。



代表取締役社長 生駒 徹志